

第2期佐伯市まち・ひと・しごと創生総合戦略

基本目標評価調査

基本目標	1 仕事を育て、仕事を創る	評価
総合戦略頁	P20～22	B

【1 基本目標の概要】

農林水産業では、6次産業化の推進、担い手の育成及び経営体の強化を図り1次産業の成長産業化を実現し、地域資源をいかした農林水産業の振興に取り組む（個別目標1）。

商工業の分野では、意欲ある事業者・企業・創業希望者を支援するため、金融支援に加え、人材確保や経営に関する学習の場を提供し、商工業の振興に取り組む（個別目標2）。

観光分野では、「さいきツーリズム戦略2019-2023」の一層の推進を図るとともに、訪日外国人の増加に対応し、インバウンド時代に沿った環境整備を行い、観光・ツーリズムの振興に取り組む（個別目標3）。

これらの取組により、新規雇用・創業を支援する。

【2 基本目標における数値目標の評価結果】

数値目標	基準値	実績値	目標値	評価
市町村民税における納税義務者数	27,371人 (R1年度)	27,474人	27,551人 (R4年度)	A

【3 基本目標を構成する個別目標の評価結果】

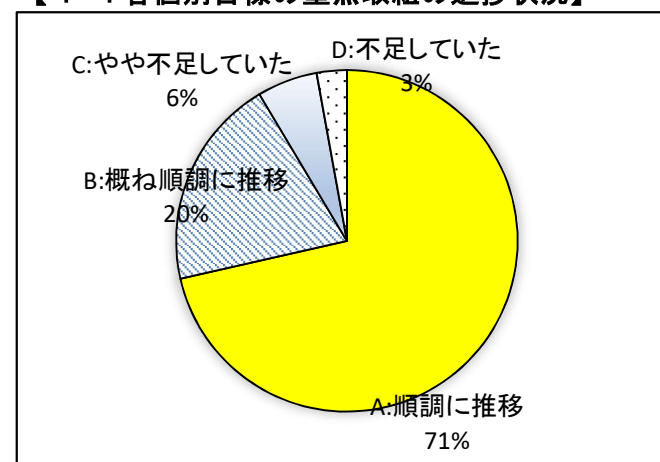
個別目標		重点取組評価					指標（KPI）評価					個別目標評価
		平均	A	B	C	D	平均	A	B	C	D	
1	地域資源をいかした農林水産業の振興	A	11	3			A	3			1	B
2	商工業の振興	A	6	3	1	1	B		2		1	B
3	佐伯の強みをいかした観光・ツーリズムの振興	A	8	1	1		C			1		C
合計			25	7	2	1		3	2	1	2	

※評価の区分

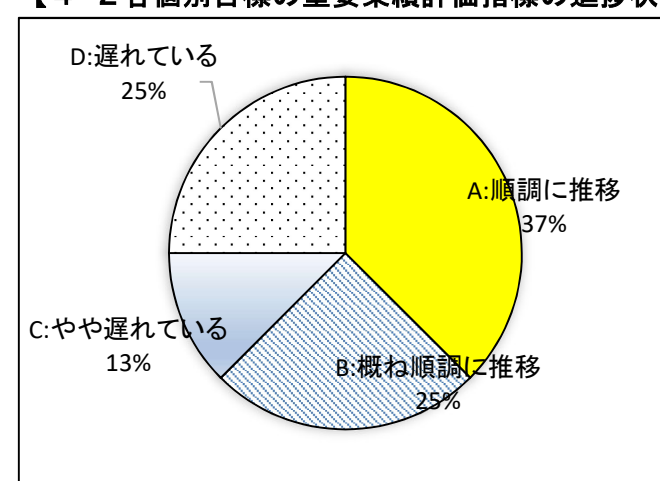
A	順調	B	概ね順調	C	やや遅れている (やや不足していた)	D	遅れている (不足していた)
---	----	---	------	---	-----------------------	---	-------------------

関係部局	市民生活部、農林水産部、観光ブランド推進部、地域振興部
------	-----------------------------

【4-1 各個別目標の重点取組の進捗状況】



【4-2 各個別目標の重要業績評価指標の進捗状況】



【5 評価が「D：不足していた」となった重点取組】

個別目標	2 商工業の振興	個別目標	-
重点取組	地場産業の海外取引の促進	重点取組	-
≪「不足している」となった理由≫ ベトナム等の諸外国との経済交流の実施にいたらなかった。		≪「不足している」となった理由≫	

【6 評価が「D：遅れている」となった指標】※赤枠：総合計画と重複していないもの。

個別目標	1 地域資源をいかした農林水産業の振興			個別目標	2 商工業の振興		
指標名	園芸作物の栽培面積			指標名	市内高等学校卒業者に占める市内就職者の割合		
実績値	R1見込み100.0ha／年 (H30実績97.8ha／年)	目標値	131.7ha／年	実績値	39.6%	目標値	62.1%
≪「遅れている」となった理由≫ R1目標103.2haに対し、100.0haの実績見込みで、目標を3.2ha下回る見込みであり、なおかつ、実績がH30目標の101.1haを下回っているため、D評価とした。 3.1ha未達成の内訳は、野菜（いちご△0.3ha、にら△1.7ha、にんにく△0.1ha、アスパラガス△0.1ha、なす△1.0ha）で△3.2ha。果樹（ハウスみかん△0.6ha、かぼす△1.0ha、ポンカン△0.4ha、デコポン△0.1ha）で△2.1ha。花き（キク＋3.0ha、ホオズキ△0.9ha）で＋2.1haとなっている。				≪「遅れている」となった理由≫ 令和2年度新規学卒者等実態調査（大分県実施）による市内高等学校卒業就職者は101人で、うち市内就職者は40人であり、割合は39.6%となり基準値を大きく下回った。			

基本目標評価調書

基本目標	2 佐伯市への人の流れを促す	評価
総合戦略頁	P20～22	D

【1 基本目標の概要】

佐伯市への人の流れを促すためには、佐伯の魅力の発信、きめ細やかな受入れ体制の整備と、佐伯市に愛着を持つ人を市内外に増やす必要がある。移住希望者の多様なニーズに対応するため、良好な移住環境に取り組む。そして、Uターンを望む若い世代を始め、各世代に対応した情報発信を行うとともに、地域産業に対する学習機会の創出により、佐伯市への回帰を促す（個別目標1）。

また、地域特性をいかした観光産業やふるさと納税を推進することで、関係人口の創出につなげ、佐伯市に愛着を持つ人を増やすよう取り組む（個別目標2）。

これらの取組により、施策による移住者年間200人を達成するよう努める。

【2 基本目標における数値目標の評価結果】

数値目標	基準値	実績値	目標値	評価
施策による移住者数	95人／年 (H28年度)	81人／年	200人／年 (R4年度)	D

【3 基本目標を構成する個別目標の評価結果】

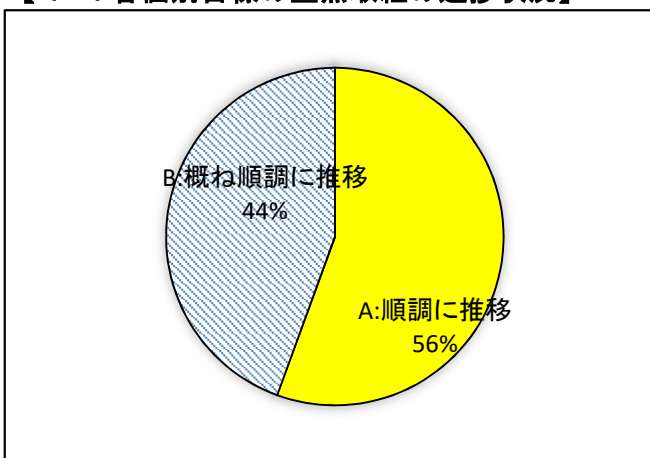
個別目標		重点取組評価					指標（KPI）評価					個別目標評価
		平均	A	B	C	D	平均	A	B	C	D	
1	佐伯市への回帰を促す	A	3	2			D				2	D
2	佐伯のコアなファンづくり	A	2	2			A	2				A
	合計		5	4	0	0		2	0	0	2	

※評価の区分

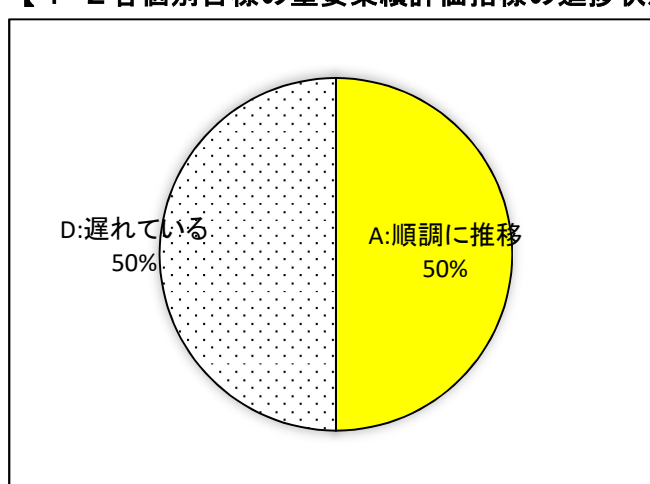
A	順調	B	概ね順調	C	やや遅れている (やや不足していた)	D	遅れている (不足していた)
---	----	---	------	---	-----------------------	---	-------------------

関係部局	総合政策部、地域振興部、観光ブランド推進部
------	-----------------------

【4-1 各個別目標の重点取組の進捗状況】



【4-2 各個別目標の重要業績評価指標の進捗状況】



【5 評価が「D：不足していた」となった重点取組】

個別目標	-	個別目標	-
重点取組	-	重点取組	-
≪「不足している」となった理由≫		≪「不足している」となった理由≫	

【6 評価が「D：遅れている」となった指標】

個別目標	1 佐伯市への回帰を促す			個別目標	1 佐伯市への回帰を促す		
指標名	施策による移住者数			指標名	市内高等学校卒業者に占める市内就職者の割合		
実績値	81人／年	目標値	200人／年	実績値	39.6%	目標値	62.1%
≪「遅れている」となった理由≫ 単身での移住が多く、移住者数が伸び悩んだ。移住相談会の回数の減少やツアーの開催がコロナ禍により難しかったことなどもあり、目標指数を下回った。 令和2年度で一番の変化は、コロナ禍により、オンラインの環境が急激に進んだことである。移住相談もオンラインで対応できる環境は整えたが、整えただけでは利用者も少なく、オンライン移住ツアーなどと組み合わせた活用などをしていかないと、利用者の増加につながらないことがわかった。また、コロナ禍で本市を訪れることに制限をかけたり、移住希望者が県境をまたぐ移動をしにいきなり空家バンクの内見なども、オンラインや動画で紹介できる工夫が必要である。合わせて働き方が変わってきており、テレワークなどに対する移住施策も検討する必要がある。				≪「遅れている」となった理由≫ 令和2年度新規学卒者等実態調査（大分県実施）による市内高等学校卒業就職者は101人で、うち市内就職者は40人であり、割合は39.6%となり基準値を大きく下回った。			

基本目標評価調書

基本目標	3 結婚、出産・子育ての希望をかなえる	評価
総合戦略頁	P25～26	D

関係部局	福祉保健部、教育委員会
------	-------------

【1 基本目標の概要】

結婚の希望をかなえ、「いつも子どもが まんなか」の理念の下、子どもを安心して産み育てる環境づくりに取り組み、支援サービスの情報発信を行う（個別目標1）。
また、妊娠・出産・子育て支援を実現するため、地域全体で子育て・子育てを支える環境づくりに取り組む（個別目標2）。
これらの取組により、子育て世代が希望する子どもの数と現実の子どもの数が一致するよう努める。

【2 基本目標における数値目標の評価結果】

数値目標	基準値	実績値	目標値	評価
予定子ども数／理想子ども数 （県実施調査実績）	0.86 （H28年度）	0.88	1.0 （R4年度）	D
出生数	401人／年 （H29年）	367人／年 （R1年）	400人／年 （R4年）	D

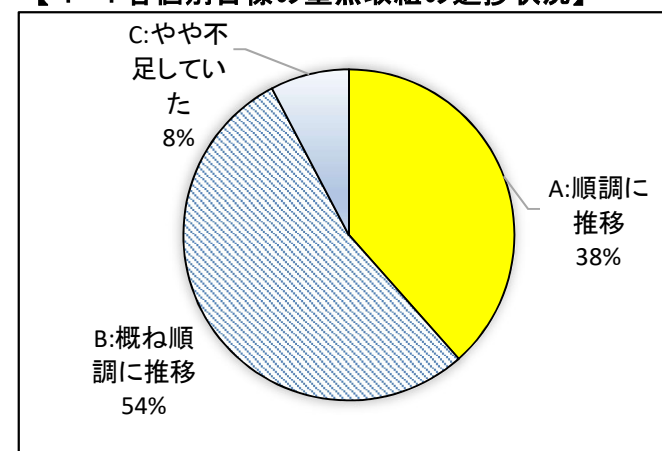
【3 基本目標を構成する個別目標の評価結果】

個別目標		重点取組評価					指標（KPI）評価					個別目標評価
		平均	A	B	C	D	平均	A	B	C	D	
1	結婚の希望をかなえ、子どもを安心して産み育てる環境づくり	A	4	1			D				1	C
2	地域全体で子育て・子育てを支える環境づくり	B	1	6	1		A	1				B
合計			5	7	1	0		1	0	0	1	

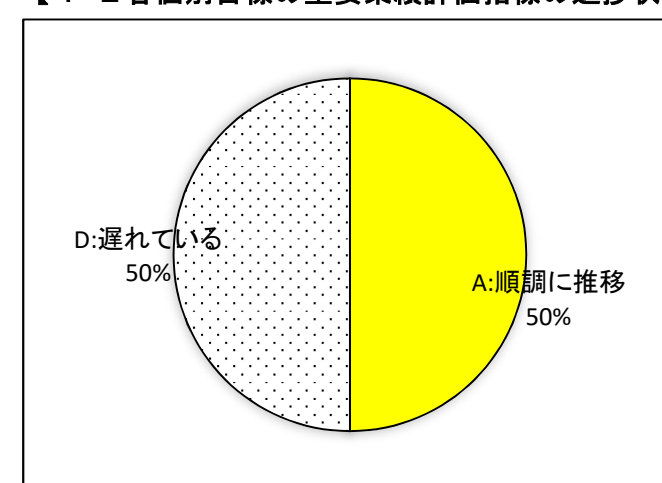
※評価の区分

A	順調	B	概ね順調	C	やや遅れている （やや不足していた）	D	遅れている （不足していた）
---	----	---	------	---	-----------------------	---	-------------------

【4-1 各個別目標の重点取組の進捗状況】



【4-2 各個別目標の重要業績評価指標の進捗状況】



【5 評価が「D：不足していた」となった重点取組】

個別目標	-	個別目標	-
≪「不足している」となった理由≫		≪「不足している」となった理由≫	

【6 評価が「D：遅れている」となった指標】※赤枠：総合計画と重複していないもの。

個別目標	-	個別目標	-
指標名	予定子ども数／理想子ども数（県実施調査実績）	指標名	出生数
実績値	0.86	実績値	367人／年（R1年）
目標値	1.0	目標値	400人／年
≪「遅れている」となった理由≫ R元年度2.75/2.88=0.95、R2年度2.40/2.72=0.88と減少しているため。理想よりも予定の方が少ない主な理由は、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が60.3%と最も多く、次いで、「高年齢で産むのはいやだから」25.3%、「自分の仕事（努めや家業）が忙しいから」24.8%となっている。理想とする子どもの数を実現するために必要なことは「経済的な支援」が75.2%と最も多く、次いで「保育所の充実をはじめとした子どもを預かる事業の拡充」41.1%となっている。【子ども・子育て県民意識調査報告書より】 以上のことから、目標達成に向け、より有効的かつ持続性を見込める取り組みを今後検討していく必要がある。		≪「遅れている」となった理由≫ 出生数は、H30.1.1～H30.12.31 360人、H31.1.1～R1.12.31 367人でいずれも基準値を下回っているため。【大分県人口動態統計より】 要因としては、比較的に出産割合の高い25～34歳の女性の人口が、減少傾向にあるためと考えられる。（H29年2,766人、H30年2,633人、H31年2,531人）また、理想とする子どもの数を実現するために必要なことは(1)に次いで、仕事と子育ての両立の推進に取り組む事業所への支援等や小児医療体制整備、妊娠出産の支援体制の充実等とある。 以上のことから、妊娠出産期でのきめ細やかな支援や環境整備の充実を今後検討していく必要がある。	

個別目標	1 結婚の希望をかなえ、子どもを安心して産み育てる環境づくり	個別目標	-
指標名	この地域で子育てをしたいと思う親の割合（3歳児健診アンケート）	指標名	-
実績値	95.2%	実績値	
目標値	98.0%	目標値	
≪「遅れている」となった理由≫ 目標値に達していないものの、近年は95%以上で推移している。重点項目については、今後も継続して取り組み、安心して、妊娠、出産、育児ができるよう、切れ目のない支援、より相談しやすい体制を強化していく。 《参考》直近の過去3年度実績値 2017（H29）97.1%、2018（H30）96.3%、2019（R1）97.2%		≪「遅れている」となった理由≫	

基本目標評価調書

基本目標	4 街・浦・里が支え合い、高めあう	評価
総合戦略頁	P27～29	C

【1 基本目標の概要】

持続可能な暮らしを実現するため、まちづくりの根幹である「ひと」づくりに取り組む（個別目標1）。人口減少・少子高齢化・過疎化を踏まえ、住み慣れた地域で、安心して暮らし続けられるまちづくりに取り組む（個別目標2）。地域の個性を尊重し、特性をいかしたまちづくりを進める（個別目標3）。これらの取組により、持続可能なまちづくりを目指す。

【2 基本目標における数値目標の評価結果】

数値目標	基準値	実績値	目標値	評価
街・浦・里のまちづくり支援件数	75件／年 (H30年度)	64件／年	100件／年 (R4年度)	D

【3 基本目標を構成する個別目標の評価結果】

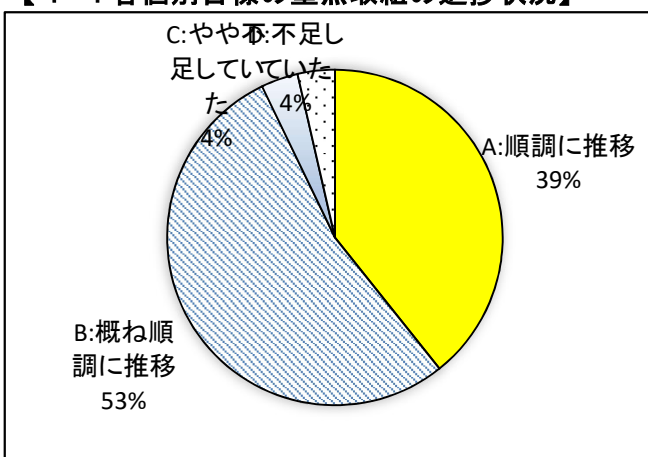
個別目標		重点取組評価					指標（KPI）評価					個別目標評価
		平均	A	B	C	D	平均	A	B	C	D	
1	街・浦・里を支える人の育成	B	2	3	1	1	B	1	1		1	B
2	住み慣れた地域で、安心して暮らし続けられるまちをつくる	A	6	4			A	4				A
3	地域の個性を尊重し、特性をいかしたまちづくりを進める	A	3	8			C		1		1	B
合計			11	15	1	1		5	2	0	2	

※評価の区分

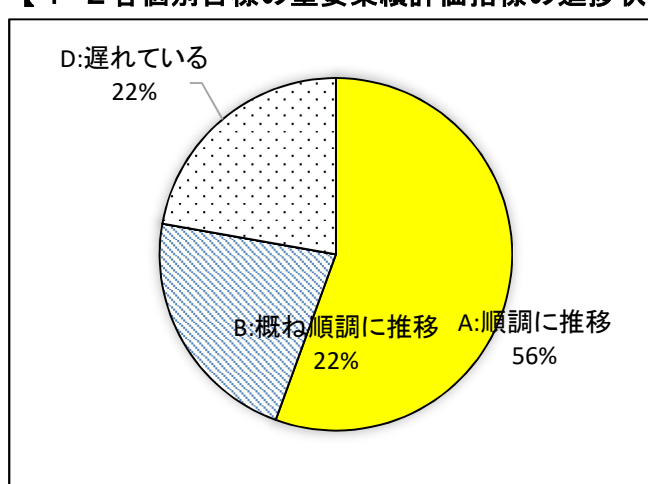
A	順調	B	概ね順調	C	やや遅れている (やや不足していた)	D	遅れている (不足していた)
---	----	---	------	---	-----------------------	---	-------------------

関係部局 地域振興部、福祉保健部、防災局

【4-1 各個別目標の重点取組の進捗状況】



【4-2 各個別目標の重要業績評価指標の進捗状況】



【5 評価が「D：不足していた」となった重点取組】

個別目標	1 街・浦・里を支える人の育成	個別目標	-
重点取組	まちづくり団体の充実	重点取組	-
≪「不足している」となった理由≫ まちづくり交流倶楽部の登録団体数は年々増加していたが、初期に登録した団体の中には活動を停止していた団体が見受けられており、活動拠点を移転するにあたり、全団体に対し登録の意思確認を行ったところ、登録団体数は33団体に留まった。今後は、積極的に活動する団体を支援しながら、あらためて新たな市民団体を育成していきたい。		≪「不足している」となった理由≫	

【6 評価が「D：遅れている」となった指標】※赤枠：総合計画と重複していないもの。

個別目標	1 街・浦・里を支える人の育成	個別目標	3 地域の個性を尊重し、特性をいかしたまちづくりを進める
指標名	まちづくり交流倶楽部の登録団体数（総数）	指標名	街・浦・里のまちづくり支援件数
実績値	33団体	実績値	64件／年
目標値	130団体	目標値	100件／年
≪「遅れている」となった理由≫ まちづくり交流倶楽部の登録団体の中には活動を停止していた団体もあったため、全団体に対し登録継続の意思確認を行った。結果として実際活動している団体や、ホールを活用しようとする団体だけが再登録したため、登録団体数は減少しD評価となった。今後は、登録団体を支援するとともに、ホールの活用方法などを周知しながら、あらためて登録団体数を増やしていきたい。		≪「遅れている」となった理由≫ 地域コミュニティの強化や地域活性化につながるイベント系の事業においては、新型コロナウイルスの影響を避けるため事業を断念する地域や団体が多かったことが原因で申請件数が少なかった。令和2年度はD評価となるが、昨年度が98件/年の実績があったことを考慮すれば、今回はコロナ禍という特殊要因によるものである。	